

## 田辺かずき 市政報告

オール古賀を実践！  
まちづくり推進中！

県市通算第57号  
(市政第3号)

2020年6月発行

<田辺かずき事務所>  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@  
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】  
■独自策を迅速に展開中  
■オール古賀で支え合う

### 社会・経済活動の回復めざす

#### 「新しい生活様式」の実践を

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市民の皆さんには多大なるご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。政府の緊急事態宣言を受け、私たち一人一人の活動を抑制しなければならぬ日々が続きましたが、宣言が解除され、

古賀市として社会・経済活動を回復させていく取り組みを始めています。

一方、平時の日常に戻ったわけではありません。ワクチンが開発されず、感染リスクもゼロにはできない中、

今後、いわゆる「第2波」を生まない決意を新たにすることが大切です。これからも引き続き「自分と大切な人の命」を守るため、政府の専門家会議が示した「新しい生活様式」を実践し、感染拡大防止を図っていかねばなりません。

この間、古賀市は有事であることを前提に、危機管理を徹底してきた。一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ



一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

一方、平時の日常に戻ったわけではありませ

こちらの二次元バーコードからご覧いただけます



私のFacebookやTwitter、Instagram、LINEといったSNS、ブログ、古賀市のHPなどで、連日、新型コロナウイルス関連をはじめ市政の情報を発信しています。現在は時々刻々と状況が変化する有事であり、これらをチェックしていただくと幸いです。これまでの市の取り組みの詳細も確認できます。

るということ。この報告書の裏面に、その主な独自策などをまとめられています。

したが、さらなる追加策を講じます。また、雇用の悪化や家計の窮乏にも強い危機感を持ち、経済的困窮対策を強化しています。

# スピードを重視、主体的に独自性のある対策を展開

古賀市の主な独自策等

※2020年5月末現在

## 《チルドレンファースト》

- 小・中学校の臨時休校、保育所等の臨時休園
- 小1特別自習室・自学自習教室開設
- 臨時休校中の配食事業
- 小1歓迎サクラサクプロジェクト
- 家庭保育協力補助金
- 保育所入所の復職期限の延長
- 全ての中3へタブレット配備
- 子育て世帯への臨時特別給付金



## 《経済的に厳しい状況を支える》

- 児童扶養手当受給世帯緊急支援金支給
- 子どもの元気応援米プロジェクト
- こころにごちそうをプロジェクト
- 中学3年生がいてインターネット環境がない場合、無線LANルーター貸与と通信費の補助
- 緊急雇用創出



## 《妊婦を守る》

- 妊娠中の市役所職員の在宅勤務
- 事業者に従業員への配慮を依頼
- 不織布マスクを配布



## 《介護予防・健康増進》

- 「家トレ」の動画配信

## 《事業者支援》

- 小規模事業者緊急支援金の給付
- 中小企業・小規模事業者の新たな支援策(6月公表)
- #古賀エール飯
- 配達飲食支援事業補助「古賀エールチケット」
- タクシーによる地元農産物の宅配



他にも多くの取り組みを推進しています。詳しくは古賀市のホームページをぜひご参照ください。

## チルドレンファースト

子どもたちを守るため、古賀市として小・中学校を臨時休校としましたが、同時に、保護者が医療や介護の従事者など働かなければならない事情がある場合のセーフティネットとして、小学1年生特別自習室・自学自習教室を開設し、給食がないため希望制の配食事業も実施しました。新人生をお祝いするサクラサクプロジェクトも行いました。

保育所・幼稚園および学童保育所等の臨時休園も実施する一方、家庭保育に対する協力補助金も市独自に設けました。また、保育所に入所する子どもの保護者の復職開始期限の延長を先行して実施しました。

受験生に学びの機会を保障し、保護者の皆さんの不安を解消するため、すべての中学3年生にタブレット端末を配備し、学校と自宅を繋いだオンライン授業も可能な環境を年度内の早期に整備します。また、子育て世帯への生活支援として中学生以下の子ども1人につき1万円の臨時特別給付金も支給します。

## 経済的困窮対策

臨時休校や事業所の休業などの影響を大きく受けることが想定されるひとり親家庭等に対する緊急的な支援として、児童扶養手当受給世帯に一律5万円の緊急支援金を支給。また、小・中学校の就学援助受給世帯に子ども1人当たりお米10キロを提供する「子どもの元気応援米プロジェクト」を実施しました。これと併せ、ニビシ醬油さまや子どもファーストkog aさまにご提供いただいた味噌などを一緒に配布しました(こころにごちそうをプロジェクト)。

中学3年生がいるインターネット環境のない家庭のために無線LANルーターを準備し、経済的に厳しい場合は通信費を補助することを決定しました。

## 妊婦を守る／介護予防・健康維持

妊婦を守ることは、新たな命を守ることに。感染が拡大する中で、当初、妊婦に対する配慮は必ずしも社会的な機運が高まっているとはいえない状況でした。出産を控え、大きな不安を抱えていると考え、古賀市は妊娠中の職員の在宅勤務を4月から始めました。あわせて市内の事業所さんに従業員への配慮をお願いしました。さらに、不織布マスク(1人50枚)を市内在住の全ての妊婦さんに配布しています。

これらの取り組みは全国でも先駆的だったため、在京テレビ局や新聞社に報じられています。政府の妊婦対応はその後前進しています。また、職員の柔軟な働き方としてテレワークも導入しています。外出抑制が長期間にわたるため、高齢者の介護予防や健康維持に役立つように、古賀市独自の「家トレ」の動画も公開しています。

## 経済対策―事業者支援

4月、売上が急減している小規模事業者への10万円の緊急支援金をスタートしました。さらに、今後「再始動」をしていく中小企業・小規模事業者のための新たな支援策として、最大20万円の給付を検討しています。また、経営が急速に悪化した飲食店と市民をつなぎ、盛り上げていく「#古賀エール飯」プロジェクトを展開。営業形態を転換せざるを得なくなった店舗のテイクアウトやデリ

バリーを普及・促進し、「持ち帰り・配達飲食支援事業補助」として電子チケット割引プロジェクト「古賀エールチケット」も実施しています。

さらに、高齢者や基礎疾患のある方、妊婦など感染すると重症化するリスクのある皆さんなどを意識し、規制緩和で商品配達が可能となったタクシー事業者さんと連携し、地産地消の拠点「コスモス広場」の地元農産物を宅配する事業も行いました。

## 今こそ「オール古賀」で支え合い、乗り越える

古賀市内外の多くの事業者の皆さんからマスクや次亜塩素酸ナトリウム、アルコールといった物資のご提供をいただいたしており、心から感謝します。医療機関、子どもや福祉の現場、妊婦さんなどにお渡しし、有効に活用しています。また、個人の皆さんから「特別定額給付金などを寄付したい」とのお申し出をいただき、市として寄付のプラットフォームを設けています。今後、新型コロナウイルスの影響による経済的困窮など社会的に弱い立場の皆さんや医療現場の支援策などに活用させていただきます。

詳しくは市HPをご参照いただくか、予防健診課(092・942・1151)にお問い合わせください。

## 【田辺かずきプロフィール】

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園卒園
- 1993年 花鶴小学校卒業
- 1996年 古賀中学校卒業
- 1999年 東立福岡高等学校卒業
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
- 2003年 毎日新聞社入社
- 2011年 福岡県議会議員就任(1期目)
- 2015年 福岡県議会議員再任(2期目)
- 2018年 古賀市長就任(1期目)